

安全データシート

1. 材料の名称 / 調合剤の名称及び会社名

製品名 : “ダイヤモンド” モグライス - WL / B - 用硬化剤 (液体)

製造社 / 供給社 :

小池酸素工業株式会社

溶材商品部

ダイヤモンド・メタルプラスチックグループ

〒136-0072 東京都江東区大島 9 - 1 - 1

Tel.03-3685-1386(代) Fax.03-3685-1334

2. 組成 / 成分

化学上の特色づけ : ラッカー (ポリアミンの調合剤)

危険な内容物質 :

CAS - No.	物質名称	含有 - %	記号	R - 項目
108-95-2	フェノール	10-25	T	24/25-34
2855-13-2		2.5-10	C	21/22-34-43
25620-58-0		10-25	C	34-43-22

Isophoron diamin

Trimethylhexamethlendiamine

(R - 項目の明文は下記第 16 箇条を参照)

3. 調合剤の起こり得る危険

危険名称 : T 有毒。

人間や環境のための特殊な危険論及 : 24 / 25 皮膚に触れたり、飲み込むと有毒。
 34 腐食を招く恐れあり。
 43 皮膚に触れると刺激の可能性あり。

4. 応急対策

一般的な注意 : 兆候が現れたり疑わしい場合には、医者の診察を受ける事。
 意識のない時は吐かせない事。

吸い込んだ時 : 新鮮な空気を入れ、安静状態にしてあたたかくする事。
 不規則な呼吸や呼吸が止まった場合は、人工呼吸を施す事。

意識の無い場合は、横向きにさせて医者診察を受ける事。

皮膚に触れた時 : 汚れて湿った服は直ぐに脱がせる事。
濡れた皮膚は十分に水と石けんで洗う事。 或は適切な洗剤を使用する事。
溶剤を使う事や希釈する事は厳禁。

眼に入った時 : まぶたを開けて少なくとも10分、清浄な水道水で十分に洗浄する事。
そして医者診察を受ける事。

飲み込んだ時 : 直ちに医者に診察してもらう事。
安静にし、吐かせない事。

5 . 消火対策

適切な消火剤 : 泡 (アルコール安定), CO₂, 粉末, スプレーミスト (水)

安全理由から不適切な消火剤 : 水柱 (Jet of water)

燃焼生産物或は発生ガスによる特殊な危険 :

燃える折りに濃い黒い煙りが発生するかも知れない。
危険な分解生産物を吸い込むと重大な健康傷害をきたす可能性があります。

特殊な保護装備 : 場合によっては、呼吸保護器具が必要になります。
火元近くの密閉容器は水で冷却する事。

6 . 偶発的な漏れの場合の対策

人に関連する注意行動 : 火元から離して置き部屋の風通しを良くする。
蒸気を吸い込まない事。
保護規定 (第7 箇条と第8 箇条) を注意する事。

環境保護規定 : 下水道に流さない事。 河川, 海, 或は廃水道管を汚す場合には、
その土地の法律に基づいて、それぞれの担当官庁に知らせる事。

浄化 / 収容方法 : こぼれ出た材料を不燃吸収材 (例えば、砂, 土, 珪藻土, 蛭石)
で囲んで、その土地の規定に基づき、適当な容器に集める事。 浄
化材料できれいにする場合は、出来るだけ溶剤は使用しない事。

7. 取扱いと貯蔵

取扱い：
燃え易い爆発力のある溶剤の蒸気を空気中で形成する事を避け、
MAK - 限界値を越える事を避ける事。
蠟燭，火や他の点火源から十分離れた場所だけで作業する事。
静電気を負っている可能性があるので、詰め替える場合には必ず
アースを使用する事。
静電防止の衣服や履き物を勧めます。
火花の出ない工具を利用する事。
眼や皮膚との接触を避ける事。
蒸気やスプレー霧を吸わない事。
作業中は食べたり、飲んだり、喫煙しない事。
個人に関する防御装備は下記8項参照。
法律上の保護及び安全規定に従う事。

火炎 - 爆発 - 防御について： 溶剤の蒸気は空気より重いので床上に拡散する。
蒸気は空気に混じり爆発しやすい混合物になる。

貯蔵：
倉庫と容器に関して： 電気装置は規格に応じて防爆タイプである事。
床は電気伝導性である事。
容器はきちりと閉じる事。
容器は圧縮して空にしない事。
圧縮容器は使用厳禁！
禁煙！
無用の者入るべからず！
開けた容器は入念に閉じ、こぼれないように真っ直ぐにして保
管する事。

(いろいろなものが)

共同貯蔵される場合の注意点： 強酸及び強アルカリ並びに酸化媒質から離して保管す
る事。

その他の貯蔵条件： (メーカーから供給される)オリジナル容器に相応する容器で常
に保管する事。
ラベルの記述に注意する事。
乾燥していて十分換気される場所で、5 から 25 の間で保管
する事。
熱気や直射日光を避ける事。

貯蔵等級 : 無し。
燃え易い液体 (V b F) の保管規定に合わせて貯蔵する事。

8 . 暴露限界と人的防御装備

技術上の保護対策 : 風通しを良くする事に気を配る事。この事は局部的に吸い取る事とか、全体の排気をする事で間に合う。これが十分でない場合は、溶剤の蒸気濃縮を M A K 限界値以下に保つために、適切な呼吸保護器具を付ける事。

作業現場での管理限界値 :

C A S - N o .	物質名称	限界値の単位
108-95-2	フェノール	M A K 5.000 ppm

この値は製造の折りに有効なリストから引用したものです。

人的防御装備 :

呼吸保護 : M A K - 限界値を越えるようなら、相応の呼吸保護具を付ける事。

手の保護 : 保護手袋。長時間触れていたり、繰り返し触れる時には、接触する皮膚表面に保護クリーム (メーカーの推奨品を考慮) を塗る事。

眼の保護 : 溶剤の飛沫から眼を守るために保護メガネを着用の事。

身体の保護 : 天然繊維 (木綿) 或は耐熱性合成繊維製の静電防止衣服を着用の事。皮膚に触れた後は念入りに洗う事。

9 . 物理的及び化学的特性

形状 : 液体
色 : ラベルを参照
匂い : Arttypisch

		値	単位	方法
引火点	:	> 108		DIN 53213
粘性 (20)	:	約 2900	mPa.s	DIN 53211
比重 (20)	:	0.99	g/cm ³	DIN 53217
爆発限界				
	下 :	-	Vol. %	
	上 :	-	Vol. %	

水に溶解	:	不可		
状態の変化	:	-		
凝固 / 融解点	:	-		
沸点	:	200		文献値
Schuettdichte	:	-	kg/m ³	
蒸気圧 (20)	:	-	mbar	文献値
P H - 値	:	-		
点火限界				
下	:	-		文献値
上	:	300		文献値
固体重量	:	88	%	

10 . 安定と再活性

避けるべき条件 : 貯蔵と取扱いのための推奨規定を応用すれば安定
(第7箇条を参照)。

避けるべき物質 : 発熱反応を避けるために、強酸 - 及び強アルカリ物質同様に酸化媒体から離して置く事。

危険な分解製品 : 高温の際に危険な分解製品例えば一酸化炭素 , 二酸化炭素煙 , 酸化窒素が発生。

危険な反応 : 実際的な用途では無し。

11 . 毒物学に関する報告

準備に役立つデータが無い。

MAK - 限界値を越えている中で溶剤を吸い込む事は、健康上の害、例えば粘膜と呼吸器の刺激、腎臓及び肝臓の被害同様に中枢神経系統を損なう事につながります。

前ぶれと症候 : 頭痛 , めまい , 気怠さ , 筋肉衰弱 , 痺れる作用及び例外的には失神。
製品と長く或は繰り返し接触すると生まれつきの皮膚脂肪を損なったり、皮膚の湿り気を無くす恐れがある。
製品が皮膚を通過して身体に到達するかも知れない。
溶剤の跳ねは眼の刺激と取り返しのきかない損傷になるかも知れない。

12 . 生態学上の報告

水が危険にさらされる度数 : 2
下水道に達しないようにする事。

1 3 . 処分の指示

製品

推奨 : 下水道に捨てない事。
家庭のごみと一緒に処分しない事。

廃物記号 : No . 5 5 3 5 2

廃物名称 : 無し。

洗浄されてない風袋

推奨 : 空容器は当局の指針にも基づいて処分する事。

1 4 . 運搬上の注意

次の規定に基づいてのみ運搬する事。

道路 (A D R) , 鉄道 (R I D) , 海上 (I M D G) 及び 航空 (I C A O / I A T A)

州運搬 A D R / R I D 及び G G V S / G G V E (国境越え / 国内)

A D R / R I D - G G V S / E 級 : 8 数字 / 文字 : 5 3 C

商品の表記 : Trimethylhexamethylendiamine

海船による運搬 I M D G / G G V - S e e

I M D G / G G V S e e 級 : - U N - N o . : 2 3 2 7 P G : 8 2 4 3

E m S - N o . : 8 - 0 5 M F A G : 3 2 0

M a r i n e P o l l u t a n t :

正確な技術名称 : Trimethylhexamethylendiamine

航空運搬 I C A O - T I と I A T A - D G R

I C A O / I A T A 級 : 8 U N - N o . : 2 3 2 7 P G : 8 2 4 3

正確な技術名称 : Trimethylhexamethylendiamine

梱包グループ : 3

1 5 . 規定

危険物質条例による記号

製品の符号文字と危険表示 : T 有毒。

ラベル表示の規定

危険を定義すべき要素 : フェノール
4.4 Diamino 3.3 dimethylcyclohexane
Trimethylhexamethylendiamine

R - 項目 : 2 4 / 2 5 皮膚に触れたり、飲み込むと有毒。

- 3 4 腐食を招く恐れあり。
- 4 3 皮膚に触れると刺激の可能性あり。
- S - 項目 : 2 6 眼に触れた場合、水で徹底的に洗い医者の診察を受ける事。
- 2 8 皮膚に触れた場合は、多量の水と石鹼で直ぐに洗う事。
- 3 6 / 3 7 / 3 9 作業の際には、適当な保護服、保護手袋、保護眼鏡及び保護面を付ける事。
- 3 8 不十分な換気の場合には、呼吸保護器具を付ける事。
- 4 5 事故或は気分が悪くなった場合には、直ちに医者を呼ぶ事
(可能なら、この事をラベルに記載する)。
- 2 3 蒸気を吸い込まない事。
- 特別な表示 : 無し。

水処理法規による指示

水の危険級 : 2

イミッション保護による指示

T A - 大気 クラス : 0 % , クラス : 0 % , クラス : 1 2 %

1 6 . その他の事項

- 第 2 箇条の R - 項目 : 2 4 / 2 5 皮膚に触れたり、飲み込むと有毒。
- 3 4 腐食を招く恐れあり。
- 2 1 / 2 2 吸い込んだり、皮膚に触れたりすると健康を害する。
- 4 3 皮膚に触れると刺激の可能性あり。
- 2 2 飲み込むと健康を害する。

日常的には、化学工業組合員の注意書き M 0 2 3 (ポリエステル樹脂及びエポキシ樹脂の加工) のような規定を考慮すべきです。

この安全データシートに表現している事は、当社の現在の知識に基づいており、そして国内・同様に E G ・立法を満足させております。使用者のおりおりの労働条件は、当社の知識と監査から遠ざかっている場合があります。

製品は書類認可無しに、第 1 箇条にいう応用目的以外に導かれる事はありません。

使用者は、必要な法律上のあらゆる規定を厳守する義務があります。

この安全データシートにある指示は、当社の製品の安全要求を記述しており、製品特性の保証を表現しているものではありません。

この安全データシート内の陳述は、1 9 9 3 年 1 0 月 2 6 日付危険物資条例の 1 4 章に基づき、要求されているものです。